

坂本 真士

日本大学 文理学部 准教授

地域高齢者を対象にした，うつと自殺予防のための啓発教材の開発と実践効果の検討

本研究では，青森県南部町において高齢者を対象とした，うつと自殺予防のための啓発ビデオを制作し，その効果を実証的に検討した。ビデオの内容およびシナリオは共同研究者らで協議して決めたが，制作にあたっては住民ボランティアが参加した。編集については，特別な技術や機材が必要なことから，外部に有償で依頼した。これらにより，啓発のための寸劇と精神科医の解説を中心とした「いのちをつなぐ わ（私・和）の町（上映時間約 35 分）」が完成した。その後，このビデオを用いて啓発効果について検討した。対象は，自殺対策に取り組む実務者（研究 1）と南部町町民（研究 2）であった。ビデオの上映前後で，内容が類似の質問紙を 2 度実施した。質問紙では自殺への信念やうつ・自殺念慮時における相談・受診行動などを問うた。その結果，すべての項目においてビデオ上映前後で統計的に有意な差がみられ，効果が確認され，ビデオの啓発効果が示唆された。